

介護老人保健施設しおさい 連携室 三上恵巳

功 績 4月より新型コロナウイルス感染症の影響で、近隣の事業所は休業や受け入れ制限をかけ減収に繋がっている中、感染予防対策に務め、高稼働維持・向上により、予算必達に大きく貢献している功績。

推 薦 者 與後 智明

推 薦 理 由 三上は医療介護連携室として委員会や地域の介護支援専門員と連携し、感染予防対策をとっていることで安心した短期入所療養介護サービスを提供することができています。新型コロナウイルス感染症は恐ろしいものですが、その中で今、自分にできることを探し、ピンチをチャンスに変え予算を必達していることを評価し今回、理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

4月にしおさいのある西伊豆町、隣町の松崎町に新型コロナウイルスの感染者が発生したことにより、近隣の事業所は感染予防対策として、休業や受け入れ制限を実施。減収に繋がっている中、しおさいでも既存の短期入所療養介護利用者の感染予防を目的としたキャンセルの問い合わせが多数ありました。

当初一部の介護支援専門員から通常営業をしているのはしおさいぐらい。大丈夫なのか。等の言葉も聞かれていましたが、このまま収束するのを待っているのでは確実に稼働を落とし、予算達成は難しいピンチな状況を迎えていました。そんなとき短期入所療養介護担当の三上は紹介元に安心して利用者さんをご利用、紹介していただけるよう施設内感染予防対策委員会と相談、受け入れの基準や感染予防対策を定め、不安を払拭できるように近隣居宅介護支援事業所に説明を行っていきましたが、情報が日々変わっていく中、見えない敵との戦いは予想上回る厳しさがありました。

それでも三上は熱意をもって相談だけでもいただけるよう声掛けをおこなっていきました。そんな中、「他の事業所では利用を断られてしまって困っている。」や「利用制限をかけられ、今まで通りのサービス提供や、このままでは在宅生活が困難になってしまう。」等の相談があったのです。三上はそのことに着目し、介護支援専門員から情報をしっかり把握、感染対策をしっかり行った中で受け入れを検討、感染症の問題がないことを確認した中で、新規利用者の獲得や既存の利用者さんが在宅でのサービスを継続できるように利用日数を伸ばすなど提案していきました。一度受け入れを可能としたケースは各事業所へ情報が広まり、それから多数の相談を受けることに繋がっていきました。

結果4月稼働99.53%、5月稼働99.94%、6月稼働99.73%、7月稼働99.94%と高稼働を維持することができ、しおさいの過去最高稼働を達成することができています。また、利用ができた利用者さん・ご家族・介護

支援専門員から「しおさいが受け入れてくれてよかった。このままサービスが利用できなかつたらどうなっていたかわかりません。本当に感謝しています。」と言った感謝のお言葉もいただき、地域への貢献にも繋がっています。

現在、住み慣れた在宅から普通にしおさいの短期入所療養介護をご利用している利用者さんは多数おります。しおさいの目指す健育会グループの存在感を示すと共に西伊豆介護業界の中心軸として地域で必要とされる施設アピールとこれまで最高の高稼働により予算達成に大きく貢献した三上を今回、理事長賞に推薦させていただきます。